

## 令和6年度政務活動報告書（会派用）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

会派名 自由民主党  
代表者名 野田 譲

政務活動テーマ	活動内容
市政推進のための調査研究	<p>新型コロナウィルス感染症の影響は収束したが、仙台市を取り巻く環境は依然として少子高齢化、人口減少の時代に加え、ガソリン代をはじめとした電気、ガス、水道等の資源、食料品、資機材等の物価が高騰し続けており、本市と市民の経済を圧迫している。特に生活困窮者の暮らしを直撃するとともに、中小・小規模事業者を中心とした事業活動にも深刻な影響を及ぼしている。</p> <p>本市を取り巻く環境は年々厳しさを増している一方、生成AIなど技術の革新は日進月歩であり、大きな変革期の時代を迎えており、このような時代において、本市は今一度市民の暮らしと安全を守り、住民の福祉向上と幸福度を最大化するという原点に立ち返るとともに、都市間競争に打ち勝つべく、時代変革の波に果敢に挑み、また「課題先進地」と言われる東北で唯一の政令指定都市として先進的なモデルを打ち出すなど、東北全体を牽引するため常に新たな挑戦をしていく役割がある。私達会派自由民主党は重点課題として以下の項目を掲げ調査研究を行った。</p>
継続 ■全世代型社会保障の充実	<p>少子高齢化が進む中、「子どもを産み育てやすい社会」「介護」の問題に対し、良好な子育て環境づくりを進め、国が進める幼児教育の無償化に伴い、未就学児の健やかな学びと、安心して子育てできる「ゆりかごから墓場まで」環境の整備、高齢者福祉の充実にも取り組むなど、「全世代型社会保障」の実現に対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●待機児童解消に向けた幼保連携による環境整備、兄弟別園問題について調査研究</li><li>●待遇改善による人材不足対策や質の確保の取り組み、幼児教育の充実促進について調査研究</li><li>●妊娠、出産から子育て、また、一体的支援に関する体制整備の構築に関する調査研究</li><li>●児童センター職員の充実など地域子育て支援強化について調査研究</li></ul>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
<p>継続</p> <p>■市民の安全・安心の確立を目指す施策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NPO等による学習・生活サポート支援や、子供食堂の子供の貧困対策の推進について調査研究</li> <li>●介護サービス基盤と地域包括ケア充実による地域での支え合いに関する調査研究</li> <li>●障害者の就労支援体制づくりと障害者理解の促進について調査研究</li> <li>●医療や救急体制の充実など市民の健康増進体制づくりについて調査研究</li> <li>●保育所・幼稚園・放課後児童クラブ等におけるDXの推進についての調査</li> <li>●犯罪被害者支援条例についての調査</li> </ul>
<p>継続</p> <p>■確かな教育の確立と次世代育成策の推進</p>	<p>自然災害等の様々な脅威から市民の生命と財産、生活を守り、防災・減災に戦略的な取組み、新型コロナウィルス感染予防をはじめとする公衆衛生対策、防犯対策や交通安全、空き家対策等に対する以下の調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●豪雨等をはじめとする災害時の即応の対応など、関連する法整備の推進に関する調査研究</li> <li>●東日本大震災の被災者への支援と復興の完遂について調査研究</li> <li>●災害時の情報連絡体制の強化に関する調査研究</li> <li>●大震災の経験の伝承と防災環境都市としての発信について調査研究</li> <li>●復興事業の進捗に対応した国からの財源措置等について調査研究</li> <li>●消防団の充実強化、デジタル化に関する調査研究</li> <li>●交通指導隊の定員充足率向上に関する調査研究</li> <li>●空き家対策など市民の安全・安心の拡充について調査研究</li> <li>●無電柱化を含む道路インフラの局所対策への調査</li> <li>●個別避難計画の作成など災害対応のデジタル化の推進への調査</li> <li>●改正災害救助法等の実施や対応に関する調査研究</li> <li>●通学路の点検を踏まえた安全確保に関する調査研究</li> </ul> <p>子どもたちがたくましく生き抜く力を育み学力向上に向けた取り組みといじめ問題への対応、特別支援教育などの教育を取り巻く諸課題に対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子供・子育て支援の新制度である認定こども園等の有効な活用と事業者との連携に関する調査研究</li> <li>●教職員定数をはじめ、指導手法や指導体制の充実など学校向上策の推進について調査研究</li> <li>●公的な子どもの遊び場整備に向けた取り組みについて</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さらなる少人数学級の拡大推進について調査研究</li> <li>●幼保小連携の促進により未就学児接続への取り組みについて調査研究</li> <li>●学校施設やICTなど良好な教育環境づくりについて調査研究</li> <li>●いじめ問題の根絶に向けた取り組みの強化について調査研究</li> <li>●個別最適な学びを実現するためのGIGAスクール構想推進への調査</li> <li>●不登校の未然防止と民間フリースクールの連携、更に全中学へのステーション設置の促進への調査研究</li> <li>●コミュニティー・スクールの更なる推進への調査研究</li> <li>●就学機会が失われた方々のための公立夜間中学の開校への調査研究</li> <li>●特別支援教育(学級)の推進の充実について調査研究</li> <li>●社会教育施設の機能強化など生涯学習の充実について調査研究</li> <li>●学校施設における特別教育、体育館への空調設備の整備促進とトイレの洋式化など教育環境の充実に向けた調査</li> </ul>
継続	<p>■ 地域経済の活性化と経済政策の更なる推進</p> <p>市民の生活や福祉、まちの魅力と活力の向上を支えるための基盤づくりと地場産業・中小企業の活性化や起業促進、交流人口の拡大、都市型の農業づくりなど、地域経済政策を加速させ、力強い雇用と消費を実現する為、以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●産学官連携等による地場産業・ものづくり産業の支援について調査研究</li> <li>●市内大学連携による地域づくりと活性化対策に関する調査研究</li> <li>●次世代放射光施設ナノテラスの整備促進と企業の研究部門集積にかかる調査・研究</li> <li>●国家戦略特区や最先端のイノベーションを活用した競争力強化について調査研究</li> <li>●JR仙台駅や仙台空港、仙台港の更なる機能の強化・拡充に関する調査研究</li> <li>●魅力と賑わいにあふれる商店街づくりと、定禅寺、青葉通り、仙台駅前の再開発をはじめとする中心部の再生についての調査・研究</li> <li>●仙台の魅力発信とインバウンドを含めた東北の交流人口の更なる拡大、県内外の都市との連携について調査・研究</li> <li>●大河ドラマ誘致について調査</li> </ul>

※ この報告書は收支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
<p>継続</p> <p>■責任ある財政運営と財政基盤の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東北観光復興対策交付金等の期間延長や財政のあり方の調査研究</li> <li>●国際級会議（学会）の誘致促進について調査研究</li> <li>●担い手の育成・確保と農地の集積、集約化による生産基盤強化に関する調査研究</li> <li>●付加価値の高い都市型農業づくりや後継育成等について調査研究</li> <li>●RPA導入、利活用を通じた行政手続き、市民サービス、地域・経済活動のデジタル化を推進するための調査研究</li> </ul> <p>持続的に市政の課題に対応し、責任ある財政運営と強固な財政基盤の確立に向けた税収増につながる長期ビジョン事業等への予算配分や、国に対しても、財源確保に努め、国からの税源移譲や課税自主権の強化などに対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地方交付税等の税源確保に向けた国へのはらたきかけと関連した調査研究</li> <li>●事業の厳選化や民間活力の活用などを通じた財政健全化について調査研究</li> <li>●徴収体制の強化による市税、国民健康保険料等の収納率向上について調査研究</li> <li>●公共施設マネジメントや市有建築物の長寿命化等の推進について調査研究</li> <li>●地方分権や大都市の財政需要等に対応した税源移譲の推進に関する調査研究</li> <li>●マイナンバー制度の活用促進と効率的な活用についての調査研究</li> <li>●国庫補助金等による重点的な財源支援に関する調査研究</li> </ul>
<p>継続</p> <p>■未来に向けて魅力ある街、まち・都市づくり</p>	<p>仙台市が未来に向けて、地域が持つ力を最大限に発揮することのできる環境づくり「杜の都」の環境や文化、都市インフラの充実に対する以下の調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「杜の都」の環境保全等、緑あふれる街づくりの推進について調査研究</li> <li>●市有施設の長寿命化計画を進める為の維持管理等に関する調査研究</li> <li>●伊達文化を生かした都市の魅力づくりについての調査研究</li> <li>●きめ細やかな地域づくりの取り組みへの支援強化について調査研究</li> <li>●道路や交通、下水道、橋梁、無電柱化など市民生活を支える都市インフラの老朽化対策と充実について調査研究</li> </ul>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の目線を取り入れた本庁舎並びに議会棟の建て替えに向けて調査研究</li> <li>●文化の振興、拠点となる音楽ホール、中心部震災メモリアルホール合築へむけ青葉山交流広場への建設について調査研究</li> <li>●温室効果ガス削減に向けた環境保全の推進とりサイクル等の資源化対策の調査研究</li> <li>●ゼロカーボンシティー取り組みへの調査研究</li> <li>●人口減少地域に対応した公共交通網整備に関する調査研究</li> </ul>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

# 令和 6 年度政務活動報告書（会派内用）

会派名 自由民主党  
議員名 野田譲

政務活動テーマ	活動内容
○都心のありようについて	・仙台駅前、青葉通りに面した両街区は仙台の第一印象である。旧さくら野の跡地、向かいの EDEN も解体されたままで、民有地ではあるが、仙台の顔ともいえるエリアの一日も早い再開発実現に向けての調査研究。
○子どもの遊び場整備	・施設の規模や内容等、利用料金の設定や周囲にある、西公園、青葉通や広瀬川のみならず、大橋、国際センター、緑彩館、博物館、仙台城跡などの施設等と屋内の遊び場との連携、活用方策について調査研究。
○新たな観光戦略と宿泊税	人口減少や都市間競争の激化も見込まれるなか、国内外から多くの人々を惹きつける観光スポットの整備、東北各地との更なる連携など、宿泊税を導入するからには宿泊者数を増やし地域に還元し、事業者の方々に実感してもらえるよう意見聴取及び調査研究
○施設の老朽化対策	・老朽建築物の割合が高まってビルの更新が進まない、建築費の高騰、賃料の低迷による収益性の悪化などに対する建替え促進助成金制度の具体的な反応や反響等の調査等を行う。
○財政問題	・財源確保と財政規律の現状について調査・研究
○いじめ対策、不登校対策	・いじめを受けた子供たちのケアについては、きめ細やかに行う必要がある。いじめを受けた子供が、やむにやまれず他の学区へ転校した場合、通学時間や距離が長くなり、交通機関の利用に係る家庭の経済負担などについて意見聴取及び調査
○子育て支援	・子育て支援制度と自治体行政、重要時医療の拡充に向けた調査。
○安全・安心な街づくり	防犯カメラを活用した犯罪抑止策や、緑地や公園の整備による安心感の向上。地域住民のコミュニケーションの促進を計り、犯罪の減少と市民の安心・安全を図る為の調査及び研究、意見収集等を行う。
○その他市政全般	☆上記項目等、令和 5 年度に引き続き調査研究 ☆その他、各種団体、仙台市内における地元活性化対策等、調査やヒヤリングを行い活動

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

## 令和6年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党  
議 員 名 加藤 和彦

政務活動テーマ	活 動 内 容
・観光戦略	○地域街づくり
・農業振興	○西部地域仙山連携強化 ○郊外型都市構造の強化 ○地域、町内会、各種団体
・中小企業支援対策	
・区役所機能強化	仙台市域内外における地域活性化対策など、現地調査、ヒアリング、インターネット等を使用し調査活動を行いました。
・経済対策	
・東北連携、仙山連携の強化	
・豪雨、防災対策	
・教育、子育て環境対策	
・有害鳥獣対策	
・スポーツ施設対策	

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

# 令和 6 年度政務活動報告書（会派内用）

（令和 6 年 4 月 1 日～3 月 31 日）

会派名 自由民主党  
議員名 高橋たくみ

政務活動テーマ	活動内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公設市場の更新について</li><li>・ 持続可能な交通安全施設の在り方について</li><li>・ 行政のデジタル化について</li><li>・ 大都市防災について</li><li>・ 地域交通施策について</li><li>・ 教育環境の実態調査と改善について</li><li>・ 地域問題、町内会の実態調査</li><li>・ 持続可能な商店街の在り方について</li><li>・ 観光施策について</li><li>・ イン・アウトバウンドについて</li><li>・ 大河ドラマの誘致について</li><li>・ 国際展示会の在り方について</li><li>・ 市民ホールのあり方について</li><li>・ 姉妹都市交流について</li><li>・ 4 病院再編について</li><li>・ アイスリンクについて</li><li>・ ダイバーシティへの取組みについて</li><li>・ 障がい者施策について</li><li>・ スポーツ環境の施策について</li><li>・ ごみ焼却施設について</li><li>・ 福祉事業について</li><li>・ 都心・駅前再開発について</li><li>・ 震災メモリアルについて</li><li>・ 犯罪被害者支援について</li><li>・ ウォーカブルなまちづくりについて</li></ul>	<p>市政に関する市民からの要望・意見を聴取し、現地調査、実態調査を行い、関連局職員と折衝し解決に向けて活動した。また、議会、委員会、調査特別委員会等で発言し、問題解決に努める。</p> <p>新聞、インターネット、専門書や資料、また有識者からの意見聴取を行い研究し、仙台市政に活かせる施策等を提言、提案を行う。</p> <p>仙台市民の福祉の向上を目的とし、市民生活より豊かにする施策実現に向け活動</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

〔別記様式第3-1号〕

## 令和6年度政務活動報告書（会派内用）

会派名　自由民主党

議員名　佐々木心

政務活動テーマ	活動内容
○野球場整備	◇野球場の整備について、関係者各位と情報交換を行い、市内の各野球場と河川敷の太白区富田緑地の公園野球場のトイレ整備状況、また芝生の維持管理の在り方、今後の整備の方向性について調査研究を行った。
○子どもの遊び場整備	◇幼稚園関係者や子育て世代との意見交換を行い、屋内施設の新設設置に対する署名活動の提出など、他都市視察を行いながら継続的に調査研究を行った。
○非認知能力	◇非認知能力の講演を受け、学齢期や様々な場面での必要性を認識し、議会質問を行い、市政施策に反映するよう求めた。
○仙台市中央卸売市場改修	◇老朽化している仙台市中央卸市場の改修工事後の、アクセス整備など他都市視察を行い、調査研究を行った。
○障害者施策	◇継続して行っている関係団体等の研修会や茶話会に参加し、情報交換を行った。さらに、仙台市発達児童相談支援センター（アーチル）の相談実施期間の短縮を求め、各関係機関と情報交換を行った。また、8050問題を提起にひきこもり支援の状況など調査研究を行った。さらに、福祉プラザ大規模改修の影響を最小限にするために関係機関との対応を行った。
○観光施策	◇アフターコロナを見据えた観光コンテンツの在り方を他都市視察で学び、また宿泊税の導入先進地域から吟釀を伺うなど、多方面において歴史的コンテンツ、既存コンテンツの魅力アップなど、他都市に負けない観光戦略について調査研究を行った。
○病院再編	◇医師会や歯科医師会、看護連盟などの研修会や懇談会の参加し、病院再編の考え方や今後の説明方針について情報交換を行った。

○地域交通	◇八本松・郡山地域交通の試験運行が始まり、持続可能な事業にするために関係団体との会議に参加し、運行ルートや停留所の改善などの情報交換を行った。
○教育行政	◇体育授業での専科指導の推進や学校プールの在り方、集金アプリ、P T A組織の考え方など、さらに、中学校部活動地域移行、不登校支援の現状と評価、受け入れをしていたインターン生と共に現地調査を行い、幅広い関係者と多角的な面での情報交換を行い、改善や新たな課題としてある内容について、適宜議会質問を行い対応した。
○客引き条例	◇繁華街の客引き条例の周知や実効性の拡大、安全で安心に繁華街を楽しめるために改善を求め、関係者との市幹部との意見交換を行った。
○犯罪被害者支援条例	◇兼ねてより導入を求めており、先進自治体の明石市を訪れ、導入の効果や改善、本市の導入への助言などを求め活動を行った。特に本市では学生支援などの導入を実現することが出来た。
○道路整備	◇中央分離帯への除草ロボの導入に向けて、社会実験を求め、関係機関との情報交換を行った。

※この報告書は収支報告書に添付してください。

## 令和6年度政務活動報告書（会派内用）

会派名 **自由民主党**  
議員名 内藤 良介

政務活動テーマ	活動内容
○側溝清掃による冠水対策	○側溝清掃による浸水被害軽減のため、市の予算に負担をかけずに行う方法について市民の皆様や地元中小企業の方々との意見交換を行い、太白区役所と協力してこのシステム構築の為に企業・町内会・区役所と意見交換や現地調査を行った結果をもとに、二回目の実証実験を行い、新たな問題点や課題を確認した。
○地域交通の必要性について	○現在地域交通のない地域において必要としている地域があるが市民の皆様と意見交換と現地調査を行った。 ○現在地域交通を導入しようと進めている市民の方と意見交換・現地調査を行い、問題を認識。 ○中々認識をして頂けない理由や問題について調査を行い、広報活動に努めた。
○若者の地元定着について	○地元大学生と現在の仙台市の就職状況も含めた仙台のさらなる若者の定着の問題について意見交換を行い、解決に向けての調査を行った。 ○地元中小企業の方と新規雇用の問題について意見交換を行った。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○自転車事故問題について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地元大学生と自転車事故問題解決について意見交換を行い、現地調査を行った。</li> <li>○杜の都の自転車プランの改定にあたり特に問題となっているヘルメット着用の必要性について問題になっている事の調査を行った。</li> <li>○電動キックボードの導入により変化する状況について、利用者だけではなく。歩行者への周知の必要性について意見交換や調査を行った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめ問題について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめ問題を解決していくにあたり、本市の35人以下学級の事や、どのようにしたらいじめの問題解決につながるのかを、専門にしている方との意見効果や現状の問題について調査研究した。</li> <li>○いじめ問題の解決において、いじめられる子を減らす為にはなにが問題となるのかを、いじめにあった方等と意見交換を行った。</li> <li>○教職員の方々といじめ問題について意見交換を行った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域問題として</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地元の道路状況等の問題点について市民の方と意見交換を行った。</li> <li>○南仙台駅の高架化や橋上化について地域の方と意見交換と現地調査を行い、今後どのようにしていく必要性があるのかを調査・研究した。</li> <li>○南仙台駅西口改札設置に向けた必要性なども踏まえ、様々な市民の皆様と意見交換や調査を行った。</li> </ul>

○物価高騰などについて	○市民の皆様との現状問題等の意見交換を行った。 ○経済回復に向けた問題等について意見交換を行った。
○防災について	○マイタイムライン活用に向けて地域の方々と意見交換を行った。 ○教職員のかたや協力頂いている企業等と子供たちの防災教育について意見交換を行った。 ○他都市の防災教育等を調査し、本市においてどのように出来るのか調査研究を行った。 ○震災遺構荒浜小学校等防災を伝えるためや、経験のない子供たちに伝えるための方法を意見交換し、調査研究を行った。
○観光について	○デジタルマップを活用したイベントの開催について、より効率よく様々な方にご利用いただくために、市民の皆様と意見交換や調査を行った。 ○インバウンドを含めた、本市への観光客の誘致に向けて意見交換や調査を行った。

※ この報告書は收支報告書に添付してください。

# 令和6年度 政務活動報告書（会派内用）

会派名 **自由民主党**  
議員名 猪又 隆広

政務活動テーマ	活動内容
○子どもの遊び場環境の充実	<p>・本市では、児童館の学区ごとの設置や小学校と連携したマイスクール児童館の取り組み、普段遊びの場や公園機能の充実、プレーリーダーの育成支援等々にこれまで力を注いできた。これらの施策には一定の評価ができるものの、本市内に屋内遊び場の充実を求める声は非常に多く、令和2年度に本市で実施した「仙台市遊びの環境に関する調査・研究」でも当局はその必要性を充分認識しているはずである。週末には近隣の自治体や山形市等に遠征しているご家庭も多く、本市には無料の屋内遊び場を設置してほしいというニーズは本当に高いものがあると考えている。同じ政令市の神戸市では、昭和62年より「こべっこランド」という無料の屋内遊び場を整備している。場所や費用、整備手法の問題はあれど、同じ政令市にできて仙台市にやれないということはない。ぜひ、子育て世代のニーズを捉えて「子育てが楽しいまち仙台」の実現に繋げるべきである。</p> <p>・屋内遊び場の基本計画策定が決定したが、基本計画策定の中で多様な声を反映していくべきである。また、駐車場に関しても北側の屋外遊び場の駐車場を立体化して整備することが、コスト面を含め現実的である。駅構内のラッピング等にも取り組む必要がある。</p> <p>・屋内遊び場の整備を推進するにあたり本市の子ども施策を象徴するようなシンボルが必要と考える。神戸市では、もっと子育てしやすい街にするために、令和5年1月「子どももっと KOBE」のロゴを作成し、神戸市の子育て施策や地下鉄車両へのラッピング、ロゴの民間利用等様々な場所で利用されている。今回の屋内遊び場を契機として、本</p>

	<p>市での子育て施策を象徴するようなロゴマークの作成が必要だと考える。</p> <p>・本市では 15 歳から 64 歳までが暮らす約 40 万世帯を対象に、令和 5 年 8 月から令和 6 年 3 月まで「市民の生活状況に関する調査・ひきこもり支援の充実に向けて」の実態調査を実施した。これまでの定点調査ではなく、政令市では初めてとなる全数調査を実施し、ひきこもり支援を求める当事者や家族と行政が繋り、必要な施策に繋げていくえでも重要な調査となった。今回の調査結果では、33,959 世帯がアンケートにお答えになり、ひきこもり状態の方がいる 3,325 世帯から返信があった。社会全体として、働きたいひきこもり当事者を育てていくような環境の整備、インフラの整備等細かくニーズを探っていくことが求められている。また、具体的な引きこもり支援を行ううえで、本市のひきこもり支援センターへの支援も充実させいかねばならない。市長自身も直接ひきこもり当事者、ご家族、スタッフからお話しをお聞きになり、具体的な支援施策に結び付けていく必要がある。</p> <p>・部活動の地域移行が各地で進んでいる。教員の多忙化解消や、顧問を充分に確保できない現状の課題はある。本市区内においては仙台経済同友会と協定を締結しており、会員企業のうち実業団等に所属するスポーツ競技の経験者を雇用している企業から、中学校に指導者を派遣する「部活支援プロジェクト」を立ち上げ、指導者の確保に力を入れている。部活動の継続困難といったケースは今後増えてくると考えられる中、部活動の廃部等の周知の時期については、学校ごとに異なっている。直前の入学説明会では過ぎる。学校任せではなく、市教委側で一定のルールを定めるべきである。子どもたちの目線に立った部活動継続の通知時期を検討いただくとともに、有識者による部活動の地域移行や部活動の今後の在り方を議論する検討会議を立ち上げるべきと考える。</p>
--	---

○障害の有無にかかわらず輝ける社会の実現

・今年はパラリンピックが開催され本市ゆかりの選手多くの成績を残した。障がいを理解するうえでも、学校現場での子どもたちの理解を深める取り組みも重要となる。ボッチャやブラインドサッカーなど、総合の時間に活用で体験している学校はまだまだ少数である。子どもたちの体験の機会を増やすとともに、福祉教育の充実を図り、障害理解を深めていくべきである。

障害を抱える子どもたちへの支援も欠かせない。日常生活用具費支給事業や難聴の児童への補聴器購入費に対する助成についても所得制限が設けられているが、こういったものは所得制限を撤廃し、すべての障害を抱えた子どもたちが安心して過ごせる環境を整えるべきだ。

○未来に繋がる安心安全な市道

・各区役所には道路台帳がありますが、道路台帳とは、道路の管理に関する基本的な情報をまとめた資料で、道路管理者が道路法に基づいて調製・保管しているものである。また、道路の幅員や境界等を記載した資料として、道路敷地構成図があり、本市では、昭和 50 年～60 年代にかけて道路敷地構成図が作成されており、現況との齟齬が多く散見されている。特に、東日本大震災以降はその状況が顕著であり、財産の管理の適正化や無用な土地の紛争が起きないためにも、14 条地図を作成したエリアから道路敷地構成図を作成すべきである。

道路境界立ち会い時の職員の対応も課題である。宮城県公共嘱託登記土地家屋調査士協会が、道路や公園部門の若い職員向けの研修を毎年無償で開催しており、境界の立ち会い業務への知識を深め、スムーズな立会作業が行われていることから、本市職員も研修の充実を図るべきとかんがえる。

また、狭隘道路の解消については、本市では国の狭あい道路整備等促進事業は使わずに、仙台市建築行為等に係る後退用地等に関する指導要綱を定め、狭隘道路拡幅整備事業を実施している。国の制度を使わないのであれば、仙台市独自のメニューをさらに充実させていくことが重要ではないだろうか。

○六郷地区公園ストック再編事業

・若林区の六郷地区は、ミニ開発によって宅地開発がなされた地域であり、そこに付随して非常に小さな公園、所謂狭小公園が多数存在するエリアである。こうした現状や多様な地域のニーズを踏まえ、既存公園の再整備により公園の機能や魅力を高めるために、六郷地区の44の公園を対象に、子供向けの遊具中心、高齢者向けの健康遊具設置、花壇やベンチを設ける広場、オープンな空間など4つのパターンを想定し、町内会単位での公園の機能分担を実施、来年度から工事に着手することであるが、本来であれば、町内会住民へのアンケートでのニーズ調査、ワークショップなどを通じ、本当の意味での地域の理解醸成を得ていくという丁寧なプロセスが必要だったと考えますが、これまでの進め方についての認識と、効果検証や利用満足度をどのように図っていくのかの具体性がないままに事業が進んでいるのは問題ではないか。事業者の継続性や名称についても議論を深める余地のある事業である。公園は整備をしても使ってもらわなければ意味がない。型どおりの公園機能ではなく、民間の発想で公園の機能を上げていくこともできるのではないかと考える。六郷地区のような小規模公園における民間事業者と連携した今後の公園管理のあり方をしっかりと模索していくべきである。

○観光の利便性向上のためのクレジットカード決済

・本市にも国内外から多くの観光客が訪れているが、今後も本市の活力を維持していくためにも、交流人口の拡大は重要な取り組みであり、交通機関の利便性向上をはじめとした受け入れ環境の充実を図っていくことは重要である。他都市では進んでいるクレジットカードのタッチ決済はインバウンド誘客を考える中でマストであるといえる。基幹交通機関である地下鉄利用者への利便性向上の取り組みとして、地下鉄でのクレジットカードタッチ決済の導入に向けた実証実験に取り組むべきである。

○仙台市立小中学校のトイレ洋式化

・一日の大半の時間を過ごす学校施設の中で、和式トイレの解消についてはこれまで議論を積み重ねてきたが、学

	<p>校トイレの洋式化は大きく前進をしている。令和 8 年度末までに洋式化率 50%以上となる。一方で自分の学校はいつ洋式化するのかを学校トイレの整備計画をHP等で見える化し、公表するよう提案をしてきた。洋式化率は50%以上という目標ではなく、さらなる上積みが必要であり、具体にどの時期までにどのくらいの洋式化を目指すのか見通しをしっかりと示すべきである。</p>
○選挙ミスの改善と投票率向上に向けた期日前投票所の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 50 回衆議院選挙では、宮城総合支所での期日前投票所において投票用紙を二重交付してしまうミスや、泉区において不在者投票のオンライン請求の処理漏れがあり、お二人の方が投票できなくなるという事案が発生している。有権者の一票の重さを考えれば、大きな問題であると言わざるを得ない。こうした事態の再発防止策を講じるのはもちろんのこと、選挙事務に携わるすべての職員に「一票の重さ」の意味を改めて認識してもらう必要がある。</li> <li>・投票率向上に関しては、これまで議会の場でも期日前投票所の拡充や選挙啓発の取組みについて訴えてきた。令和 7 年度の選挙に向けて、期日前投票所の拡充など具体的な取組みが求められる。</li> </ul>
○スタートアップ支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少社会における本市の持続可能性を考えると、若者の呼び込み、定着、そしてその活力をいかしていくことが必要不可欠であり、スタートアップ支援は非常に有効な施策であると考える。折しも東北大学が正式に国際卓越研究大学に認定された。東北大学は大学発スタートアップの創出を加速することとしており、25 年後までに 1,500 社という高い目標を掲げている。スタートアップ支援に力を入れる本市としては、東北大学とのさらなる連携強化に取り組むべきである。また、東北大学以外との連携も重要である。東北学院大学では、スタートアッププロジェクトやアントレプレナーシップ教育の充実、東北福祉大学の産業福祉マネジメント学科では、地域密着型で起業する社会起業家の育成にも取り組んでいる。こういった在仙の大学へのスタートアップ支援、特に起業してからの伴走的な支</li> </ul>

	<p>援を本市でも進めていくことが重要である。</p>
○不登校支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>文部科学省が全国の自治体を対象に実施している令和5年度問題行動等調査の結果が公表された。本市での不登校児童生徒は、令和5年度では小中学校合わせて3,128人のことであり、初めて3,000人を超えた。令和4年度と比較しても561人増加しており、全国の傾向と同様にその増加に歯止めがかかっていない。今回の結果を見ると、これまでの不登校施策への実効性については疑問があると言わざるをえない。様々な施策を実施しておりますが、これまでの不登校施策の予算規模も1億2千万円といじめ対策の10分の1と本当に充分なのか疑問がある。特に、学校内の居場所である在籍学級外教室ステーションは今年で5年目になる。現在、中学校に35校、新たに小学校に10校新設し、全部で45校あるが、ステーションの効果・検証をどのように総括しており、今後すべての学校に設置していく必要があるのではないか。</li> <li>本市の不登校児童の受け入れの一つである私立の学びの多様化学校である、太白区坪沼のろりぼっぷ小学校がある。本市ではこれまで通学費支援をしており、そのことは高く評価しているが、やはり私立の学校ということで、学費がネックとなり、学びの多様化学校に入りたくても入れない現状がある。中学校開校に向けて準備を進めていますが、現状の小学校の児童数ではそれも難しい。前任の教育長から公立での学びの多様化学校は作る予定はないとのことであるが、それならば本市に1校しかない学びの多様化学校に通う保護者への公立並みの学費支援を実施すべきである。</li> </ul>
○今泉清掃工場建て替え整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和60年に建設された現今泉工場は、これまで二度の基幹改良工事を実施し、長寿命化を図ってきた。この間、今泉工場建替基本構想並びに基本計画の策定にあたり、有識者で構成される今泉工場建替検討委員会での議論、市民説明会やパブリックコメントでの市民意見の聴取により具体的に積み重ねられてきた。災害への高い対応能力は基</li> </ul>

より、防災拠点としての位置づけ、大人から子どもまで学べる環境学習拠点等、最新かつ高い機能を持たせることはもとより、今泉工場がある今泉・六郷地区の皆様から愛され、地域と連携できる施設になることが強く望まれる。現工場の解体費などの費用を含まずに建設費で約620億円、運営費が270億円とのことだが、費用の設定はもっと抑える努力が必要となる。実勢価格を反映した予算設定が重要である。ごみの広域処理も今後重要なファクターとなる。塩釜市が新たな清掃工場の建設を断念したが、ごみは燃料との考えのもと、他都市のごみをしっかりと受け入れ、人口減少により清掃工場が遊ばない体制を整えていくべきである。

○六郷地区の仙台ハーベストビレッジの現状

・スーパーが相次いで閉店している現状は何とかしなければならない。多くの買い物難民を生んでいる状況で、行政も主体的に関わり、一日も早く仙台ハーベストビレッジ内に新たなスーパーの出店を待ち望んでいる。しっかりと地域への説明責任を果たすとともに、既存のヨークベニマルの出展が難しいのであれば、次のスーパーの出店候補を行政側も間に入り、誘致に乗り出し、今の状況を1日でも早く改善すべきである。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

## 令和6年度政務活動報告書（会派内用）

会派名 **自由民主党**  
議員名 千葉修平

政務活動テーマ	活動内容
秋保長袋地区における太陽光パネル製造工場等の建設計画など、メガソーラー問題について	第二回定例会の代表質疑にて、建設予定地とされる山林は市街化調整区域であり、工場などの建築物は建設できないことを明言させた。また、このような大規模な森林開発を伴うメガソーラーにおいては、山火事リスクも含めて問題が大きいことを指摘した。
ダイバーシティ推進、外国人共生と諸課題	第二回定例会代表質疑、また一般質問、予算等審査特別委員会等で、社会的、文化的等の様々な観点から問題点を指摘。ダイバーシティ推進を進める際、声なき多数派の思いをしっかりと受ける止めるよう、提言する。
4 病院再編構想	第二回定例会代表質疑をはじめ、一般質問等で、仙台医療圏全体の観点から、また、日赤跡地の活用とまちづくりの観点など、様々な観点から問題点を指摘し、議論を深めた。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
「市民遺産制度」の創設。大年寺山公園に残る伊達文化の遺産の保存、活用など	第三回定例会で市民遺産制度の創設を指摘し、市は創設の方向へと舵を切った。また、大年寺山公園にある宝華林廟が本市への寄付経緯を明らかにし、無尽灯廟、瑞鳳殿との観光連携も提案した。
大規模地下緊急一時避難施設でのミサイル避難合同訓練の継続、避難施設拡充に向けた民間施設への働きかけ	決算等審査特別委員会にて提言。訓練は継続され、長町で実施。また、引き続き民間施設への働きかけを継続し、拡充する方向となった。
郡山折立線に東北大学青葉山館バスへのアクセス路を	継続的に提言し、本年度は第四回定例会で取り上げた結果、本格的な検討を進める方向となった。これにより、八木山方面から本市中心部や次世代放射光へのアクセスが容易になることが期待される。
脳科学の知見を考慮した、デジタルと「紙と鉛筆」のバランスの取れた教育。ネット依存、視力低下対策。	第四回定例会では、ギガスクール構想やネット依存、スマホ依存が進む中、子どもたちの取り巻く環境の改善を提言。

## 令和6年度務活動報告書（会派内用）

会派名　自由民主党  
議員名　赤間次彦

調査・研究テーマ	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある都市づくり</li> <li>・障害者スポーツについて</li> <li>・障害者施設について</li> <li>・地域経済の再生</li> <li>・災害に強いまちづくり</li> <li>・高齢者・障がい者・子育て等の支援について</li> <li>・豊かな農業施策の確立、食の安全について</li> <li>・期待を担う青少年の、健全育成と教育充実について</li> <li>・文化アミューズメント、施設等について</li> <li>・音楽ホールについて</li> <li>・地域ブランドについて</li> <li>・都市整備（都市計画道路、都市機能）について</li> <li>・交通事業</li> <li>・相互交流事業について</li> <li>・パークゴルフ場の開設・利用・整備、運営経営体、利用者の反応等の調査</li> <li>・シティセールス、・インバウンド、アウトバウンド</li> <li>・国際姉妹都市交流について</li> <li>・高齢者の労働参加について</li> <li>・地球温暖化対策</li> <li>・企業誘致と雇用</li> <li>・市民待望の文化・スポーツ施策の充実について</li> <li>・いじめ問題、教育の充実について</li> <li>・医療提供体制について</li> <li>・地域商店街の経済助成と活性化について</li> <li>・公営企業の民営化や官民連携等について</li> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査</li> <li>・資料収集</li> <li>・関係者からの聞き取り</li> <li>・先進事例の調査</li> </ul> <p>令和6年7月2日～5日 視察先：東京、徳島市役所、徳島、宇和島</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿波踊りにおけるインバウンドについて</li> <li>・地震の被害状況について</li> <li>・その他</li> </ul> <p>令和6年7月27日～31日 視察先：台北市、台南市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圓山大飯店地下トンネル</li> <li>・李登輝養護施設</li> <li>・奇美博物館</li> <li>・日台交流サミット</li> <li>・長英大学</li> <li>・その他</li> </ul> <p>令和6年10月9日～10日 視察先：トーサイクラシックホール岩手</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第19回全国議長会研究フォーラム in 盛岡</li> <li>1日目講演「人口減少社会における地域の未来図」</li> <li>パネルディスカッション 「地方議会の課題と主権者教育」</li> <li>2日目 課題討議「主権者教育の取り組み報告」</li> </ul> <p>研究テーマや、時事的な問題等について市民や各種団体への訪問調査、懇談会を重ねて広報広聴活動を行っている。課題や問題点などを抽出し、議会の場での議論や要望、提案活動、働きかけなどを行っている</p>
※ この報告書は収支報告書に添付してください。	

## 令和6年度政務活動報告書（会派内用）

所属会派名 自由民主党

議員名 鈴木 勇治

政務活動テーマ	活動内容
環境とごみ問題	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境負荷低減策の充実の働きかけを行った。</li><li>・家畜糞尿、食料品の食べ残し、農業生産物等のメタンガス化施設の普及、坪沼地区での可能性を調査した。</li><li>・同施設の適正立地の摸索を行った</li><li>・太陽光発電所事業の適正立地と活用及び規制等について研究をした</li></ul>
高齢者介護基盤の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者の入所施設の整備促進を進める。</li><li>・介護事業者の団体及び介護を続ける家庭等の訪問調査を行った。</li><li>・高齢者、障がい者等の食事自立支援サービス事業の充実・・・事業者の調査を行い当局に改善を求めた。</li><li>・適正立地の摸索と安定経営と運営維持についてヒアリングをおこなった</li><li>・事業者募集に至らなかつた要因と今後の課題について予定していた事業者に面談ヒアリングを行つた。</li></ul>
大都市制度の在り方及び地方都市の権限の拡充	<ul style="list-style-type: none"><li>・住民ニーズに的確に応え、市民にとってより充実したサービスを提供していく為には、権限、財源をもつことが不可欠である。また早急な復興に向けては、スピード感も欠かせないこともあり、指定都市市長会で検討を進めてきた特別自治市を含め、新たな大都市制度実現に向けて市民の議論を喚起し積極的に取り組んだ。</li></ul>
議会改革	<ul style="list-style-type: none"><li>・開かれた議会のあり方</li><li>・市議会のICT化</li><li>・開かれた議会の在り方についての進化について、また議会のICT化の進捗について、他市議会との情報収集、必要性の懇談を行つた。</li></ul>

都市交通施策と基幹道路の安全確保 交通弱者対策と狭隘道路の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全施設業協同組合との勉強会や懇談会を重ね、現状と改善策を市当局に提言した。</li> <li>狭隘道路の改善について、土地家屋調査士の活用について同協会会員との勉強会に参加</li> <li>通学路の安心安全対策の徹底を求め、現場調査、学校や保護者のヒアリングなどを行った。</li> <li>取り残された被害箇所の調査、被害者からの聞き取りを行い、農業施設、生活施設の安全対策の調査。</li> </ul>
引き続く雨水被害と 2022.3.16 地震の被害関連 <ul style="list-style-type: none"> <li>農業基盤の被害復旧</li> <li>道路等生活環境の復旧促進</li> <li>各種支援策の円滑な導入</li> <li>風水害時の避難計画と避難所の在り方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援対象外となった被害箇所の復旧状況調査。</li> </ul>
新型コロナ感染症及び感染症の蔓延に影響される中小零細企業の経営状況の影響	<p>市民生活の自粛による経済影響が深刻となることから訪問ヒアリングを行った。今後の支援策などの意見を聴取した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関連事業者支援の適切な活用</li> <li>中小企業等事業からの相談、意見把握、指導をおこなった。</li> </ul>
新型コロナ感染症及び感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校、保育所、高齢者施設の換気対策とウイルス除去方策について</li> </ul>
農業関係基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援対策の強化による財源のひっ迫から本事業が取り残されることの無いよう、該当箇所の点検と調査を行い行政側への働きかけをおこなった。</li> </ul>
有害鳥獣対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害箇所の調査</li> </ul>
中小企業等の団体による社会貢献活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業団体等の社会貢献活動の促進と働きかけ</li> </ul>

農業生産物の产地形成と販売方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山元町、蔵王町、山形県天童市高畠町旭町、福島市、米沢市、中山町、山形県朝日町のリンク農家、道の駅などで产地形成や維持についてヒアリングや調査を行った。</li> </ul>
小中高生等のスポーツ推進 シニア層のスポーツ活性化委	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民及び有識者へのヒアリングをおこなった。 市民活動に対する情報提供</li> </ul>
スポーツ大会誘致と交流人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの各全国大会の参観とヒアリング調査</li> </ul>
仙台日赤病院を含む4病院統合移転	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会太白ブロックとの情報交換等に参加</li> </ul>
地域のイベント活性化によるコミュニティの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域イベントへの支援強化とコミュニティ力の強化について調査</li> </ul>

※この報告書は収支報告書に添付してください。

## 令和6年度政務活動報告書（会派内用）

会派名 自由民主党  
議員名 西澤 啓文

政務活動テーマ	活動内容
1. 観光施策について	国内外の観光客を仙台へ誘致促進を図る方策について調査・研究
2. スポーツ施設の整備について	民間活力導入も含め、更なるスポーツ施設整備を進めることで、市民のスポーツ活動をより活性化する方策について調査・研究
3. 中心市街地の再整備について	中心市街地の再整備に向けてビルオーナー等へのインセンティブ等を設けることでその促進を図る方策の調査・研究
4. 空き家対策について	現在特に大都市においてそのニーズが高まっている、入居予定者によるリノベーションを推進し、その有効利用及びみなし市営住宅の活用を図る方策について調査・研究
5. 農業振興策について	農業振興に向けて、6次産業化の方策について調査・研究

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
6. 高齢者等の安全・安心の確保について	心身に不安をかかえる独り暮らし高齢者や重度の身体障害者の安全・安心確保策について調査・研究
7. 仙台港の利用促進について	仙台港の管理に本市がより積極的に関わることにより、この周辺への関連産業集積とそれによる雇用の促進を図る方策について調査・研究
8. 仙台空港の利用促進について	国内外からの観光客増に向けの仙台空港の利用促進に、今後本市がどの様に関わることが必要かについて調査・研究

# 令和6年度政務活動報告書（会派内用）

会派名 自由民主党  
議員名 庄司俊充

調査・研究テーマ	活動内容
<p>自然災害に関する課題</p> <p>ロシアのウクライナ侵攻に際して派生する課題 (防衛、食糧、電力調達、他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域経済の振興、産業振興政策</li> <li>・地域経済の再生</li> <li>・地域のふれあいと活性化</li> <li>・自己、地域、行政、民間の防災対策について</li> <li>・未来に向けた災害時の対応（教育の中や地域などで受け継いでいく教訓）</li> <li>・障害者の社会参加の就労支援体制</li> <li>・介護予防と介護支援の充実</li> <li>・高齢者の健康づくり（生涯学習や市民農園など）</li> <li>・子育て支援施設、制度の充実</li> <li>・災害時の対応（要介護者、未就学児等支援が必要な方への在り方）</li> <li>・環境への負荷の少ない都市づくり</li> <li>・水、緑保全の対策推進</li> <li>・個性ある新産業の創生</li> <li>・にぎわいや豊かな生活文化をつくる産業の振興</li> <li>・屋上緑化</li> <li>・泉ヶ岳の活用のあり方</li> <li>・産業誘致</li> <li>・休耕田の利活用、市民農園の拡充</li> <li>・市街地の賑わい活性化</li> </ul>	<p>大衡村への半導体工場進出に伴い住環境や都市整備について調査を行っていたが9月末に進出撤退表明を受け、新たな企業誘致に向けた取り組みを調査した。仙台圏（近隣市町村）との綿密な連携をより一層強化しなければ都市間競争には勝てないと改めて感じました。</p> <p>また、地球温暖化による異常気象の影響からとも言われますが米の価格が一年で約二倍になるなど、市民の生活に大きな影響が出ております。</p> <p>常日頃から既存農家に対する後継者育成や成り手の不足、物価高騰に対する手厚い支援を求めておりますが、米どころ東北仙台として他の自治体には見ない手厚い支援制度を設けて参らねばならないと思っております。</p> <p>地域の街づくりやにぎわい創出などの調査を行った。</p> <p>市内各地域の道路渋滞の解消と道路舗装改修などのヒアリングを行った。</p> <p>介護支援について介護事業者や介護支援をしている家庭のヒアリングを行った。</p> <p>令和6年7月27日（土）～31日（水） 視察先：台湾 台北市 台南市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圓山大飯店地下トンネル</li> <li>・李登輝養護施設</li> <li>・奇美博物館</li> <li>・日台交流サミット</li> <li>・長英大学</li> <li>・台南高鐵駅花魁公園</li> <li>・その他</li> </ul>

- ・人にやさしいまちづくりについて
- ・農業振興策について
- ・新産業創出について
- ・観光振興について
- ・地方創生、一億総活躍社会実現に向けた取り組みについて
- ・地方創生を見据えた今後の地域経済活性化事業の展開について
- ・仙台市内パークゴルフ場の新設整備
- ・農地の有効活用と農と食の連携
- ・スポーツツーリズム
- ・いじめ問題
- ・商店街活性化事業について
- ・外国人観光客誘致について
- ・まちの魅力の発信、広報について
- ・高齢者や子供を地域で見守る環境づくり
- ・8050問題
- ・引きこもり、自死問題
- ・ゴミ減量
- ・地元産木材の積極的な活用
- ・音楽ホール、文化施設について
- ・その他

令和6年10月29日（火）～11月2日（土）  
 視察先：タイ  
 ・介護施設  
 ・アサワラート  
 ・タイ政府観光庁  
 ・バンコク都庁  
 ・BtoBセミナー  
 ・東洋ビジネスサービス

令和7年3月24日（月）日帰り  
 視察先：東京 東京おもちゃ美術館  
 ・東京おもちゃ美術館 概要、設置経過について  
 ・子どもの遊び場について  
 ・木育について  
 ・その他

地域や各種団体への聞き取り・現地調査や陳情要望等に関しても当局他、議会や委員会の質問等で行った。

研究テーマについて市民や各種団体への訪問調査、懇談会の開催や参加を重ねて広報広聴活動を行っている。課題や問題点などを抽出し、議会の場での議論や要望、提案活動、働きかけなどを行っている

※ この報告書は收支報告書に添付してください。

## 令和6年度政務活動報告書

会派名 自由民主党  
議員名 橋本啓一

仙台市を取り巻く、少子高齢化・人口減少の進展という厳しい状況にあって、民間と行政が力を合わせ新しい発想で経済をはじめ福祉、教育、そしてまちづくりなど、持続的な発展を実現する責務があります。又、新型コロナウィルス感染症の再拡大に備えるなど、市民生活をしっかりと守る取り組みを強力に推し進めて参ります。

覚悟を持ち、市民一人ひとりの声に対応した市政運営を実行する為に、下記の各般にわたる調査研究を行いました。

政務活動テーマ	活動内容
◆新型コロナウィルス感染症以降の対策	
○アフターコロナの対応について	セルフケアをはじめ、フレイルリスクのある高齢者等への指導、普及啓発について調査を行う。
○感染拡大防止と医療体制の整備について	医療機関と高齢者・障害者福祉施設が連携した感染防止について、意見交換を行うとともに調査を進める。
○雇用の維持対策と財政支援について	飲食店や中小企業等の資金繰りや経営の支援など、国からの支援協力の拡充や政令市への自治体支援のあり方に関する調査を進める。
○医療・福祉の施策について	コールセンターハンモックの対応拡充、#7119電話相談体制の活用の対応等について、各都市の取り組み状況等を引き続き調査した。又、軽症者（自宅待機者）の早急な受け入れ体制の拡充と、自粛期間中の健康維持について聴取を引き続行う。
○救急体制の充実について	増加する救急需要や高齢者に対応するための機能強化について調査を行う
○感染症への柔軟な対応について	感染症法等に関する権限や運用について都道府県から政令市への委譲などについて調査を進める。
○経済・雇用支援について	サービス業や飲食業、宿泊業等への経営支援や産業振興事業団を活用した地元中小企業への販路確保対策、又、テレワーク導入の為の支援について、調査を行う。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
○教育、保育への支援について  ◆市民生活の安全・安心の推進	AI型教材の導入によるオンライン教育の推進と児童クラブにおける人材と安全の確保、在宅児童の勉強のあり方について調査を進める。
○4病院の移転・再構想について	移転・再構想に関する、精神医療や救急医療体制の適切なあり方について、関連する医療関係者から意見聴取を進める。
○地域コミュニティづくりと活性化対策について	高齢化が進展する町内会組織等、地域の課題解決に向けた取組みとNPOや民間団体、PTA団体の持つノウハウを生かした地域活動の取組みについて調査を進める
○区役所のサービス向上の取組みについて	区役所間の格付けを導入した、市民サービス向上の調査を行う。又、更なるワンストップ窓口を活かした、市民にわかりやすい窓口業務について、調査を進める。
○消防団、交通指導隊の機能強化と支援について	消防団、交通指導隊の充足率アップの取組みと、小中学校のPTAや子供会育成会、オヤジの会といった地域関係団体との連携・ネットワークづくりについて調査・研究を行う。
○地域の防犯・防災とその強化について	町内会をはじめ、体育振興会、子供会育成会、商店会等の情報共有の取組みと互いの活動を補完し合う一体となった地域の安全・安心につなげる体制づくりの調査を進める。
○高齢化に対応したオンライン診療のあり方について	医師不足を見据えた、地域の実情に合ったオンライン診療の対応について調査を行う
○更なる投票率アップと適正な選挙事務改善について	大学生・専門学校生・高校生を対象とした若年層の投票率アップ等の取り組みに関する調査を進める。
○自助・共助の仕組みづくりについて	中高大学生の力を活かした地域防災リーダーを育成し、地震や豪雨等の自然災害に備えた自主防災組織の体制強化について意見交換、調査研究を進める。又、女性の視点を踏まえた防災対策の調査を行うとともに、民間事業者と連携した帰宅困難者対策の充実について調査を行う

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
○一般家庭ごみの排出抑制について	一般家庭ごみ削減とリサイクルできる製品プラスチック等の取り扱い強化について調査を進める。
○海洋汚染への対応について	廃プラスチック類の排出抑制の取り組みと民間事業者の取り組みの対応について調査を進める。
◆社会保障充実の推進	
○地域福祉の強化について	介護保険事業計画のもと、介護報酬や人材確保等の支援のあり方等について、調査を行う。又、地域包括ケアシステム構築に対応した包括支援センターの更なる機能強化策について各センターへの調査を進める。
○地域医療の充実について	市内における二次・三次救急の適正な配置バランスのあり方や、地域のかかりつけ医との連携強化の促進について調査を行う。又、市立病院におけるガン対策や一体的なうつ対策と、精神医療や小児救急医療と夜間こども救急診療所の体制強化について、調査研究を進める。
○障害者の就労支援について	障害者の資格取得支援や就労情報提供、民間事業者とのマッチング等、各種支援の効果的なあり方について調査・研究を行う
○介護サービスの充実について	介護報酬に左右されない介護サービス基盤の充実と体制づくりについて意見交換と調査を行った。又、認知症対策など介護予防事業や健康づくり施策拡充の調査を進める。
○認知症の方と家族への支援について	認知症への理解を深めるとともに、認知症の方とその家族と連携し、支援体制づくりについて調査を進める。
○障害者保険福祉計画に基づいた取り組みについて	共生社会実現に対応した理解促進や支援の充実について調査を進める
○中・高齢者の生きがいづくりについて	生きがいを持って健康でいきいきと暮らせる環境づくり、ICT デジタルの活用の取組みについて調査を進める。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
◆確かな教育体制と次世代育成の推進	
○教育環境の充実支援策について	生きがいづくり、民間団体の不登校対策の支援拡充策と経済的に困っている家庭への「タダゼミ」等のNPO団体との連携による支援策について聴取・調査を行う。
○不登校対策の充実について	フリースクール等の学校外施設への運営支援や制度構築について調査を行う
○子育て環境支援の拡充について	幼児教育と保育の無償化に伴う財政支援のあり方や、子ども医療費助成への拡大的財政措置に関する意見交換を行い調査を進める。
○地域における子育て支援について	児童センターと小学校における放課後子供教室のあり方、そして、地域資源（人材）を活かした子育て支援のバックアップ等に関する調査研究を進める。又、待機児童対策として、幼稚園から認定こども園のスムーズな移行や延長保育、休日夜間保育の充実、保育所の拡充に伴う人材と質の確保に向けた待遇改善、又、認定こども園への移行に向けた環境、整備に関連し、事業者への聴き取り、調査を行う。
○子どもの貧困対策について	経済的困窮家庭の子供の経済状況や支援に取組む民間団体の活動の調査を進める。 又、学習支援を実施している民間ボランティア団体についての情報収集や取組みについても調査を行う。
○教育環境の整備について	少人数学級の推進といじめ問題の対策強化、特別支援教育の充実、不登校対策について意見聴取・調査を行う。学校支援地域本部の対象校拡大と不登校対策に関連したスクールソーシャルワーカーの強化について研究調査を行う。ICTを活用した教育環境づくりについても民間事業者との意見交換を行う。
○いじめ対策について	いじめ対策専任教諭の活用方法の検証、フリースクール等の取組みや特別支援コーディネーターの適正配置、特別支援教育の更なる推進に関する調査研究を進める。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
◆地域経済の活性化の推進	
○既存の地元企業支援について	スタートアップ支援をはじめ、地域の既存中小企業の必要な支援のあり方、国・県の補助メニュー、サポートのあり方について調査を行う。
○東北大学放射光施設の利用促進について	「ナノテラス」の安定的な運用をはじめ、利用促進を図るための調査を行う
○アフターコロナを見据えた経済観光対策について	仙台市の果たす役割とインバウンドに対応した広域連携・交流の取組みと誘客促進策について、有識者等からの意見聴取を進める。
○デジタル化に向けた実施支援策について	マイナンバーカード活用による手続きの効率化やデジタル化の基盤整備の支援、ICT教育の推進に関する調査を行う。
○地域経済活性化に向けた経済政策	東北放射光施設活用による活性化策や東北圏域内における観光・経済交流の連携によるイノベーション都市実現に向けた取組に関する調査を行う。
○中小企業の体力強化について	物価高騰の中、中小企業の抱える資金繰り等の課題や販路拡大に対する支援のあり方、更に産業振興事業団等との積極的な連携について検証と調査を進める。
○農業施策の振興等について	高齢化の進行による農地の耕作放棄地対策や後継者不足に対応した人材育成策、又、農地の集約、市民農園への転用など、現状を踏まえた課題解消に向けた調査を行う。
○起業支援と多様な働き方について	「スタートアップ」の形成と人材育成の取組みへの財政支援のあり方について調査を行う
○賑わいと活力のある経済の活性化について	国家戦略特区の活用や、在仙大学間の連携による都市の競争力強化策や仙台駅前の再開発を踏まえた市中心部の活性化について（地下街の検討を含め）調査研究を進めるとともに、交流人口拡大等について調査を行う。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
○インバウンド強化について	海外からの広域連携によるインバウンド強化について調査を行う
○広域連携と観光交流拡大について	東北圏域の広域的連携強化や仙台空港、仙台港の積極的活用によるインバウンド、アウトバウンドの一体的な推進について、調査を進める。
○若者への就労支援について	キャリアカウンセリングを支援する「若者サポートステーション」の利用促進や若者への情報提供などを行うジョブセンター強化の調査を進める。
○深刻化する介護福祉分野での人手不足対策について	福祉現場での即戦力となる外国人材の受け入れを希望する福祉関連事業者からの意見を聴取するとともに、外国人研修生募集の取組みについて調査を進める。
◆未来への魅力あるまちづくり	
○地域交通の確保と対策について	高齢化が進む郊外部での公共交通の確保について調査を進める。
○公共交通の利便性向上と利用促進について	市中心部の渋滞解消にむけて、地域ごとの効果的なバス、地下鉄の連携強化やIC乗車券イクスカ等を活用した活性化策について調査、研究を進める。又、民間事業者等が取り組む地域循環バスの有効性の検証や活用について、調査研究を行う。
○インフラの防災強化と地域を支える人づくり	震災の経験や教訓をもとに進めてきた「防災環境都市づくり」の検証について
○地震、豪雨への対策について	頻発するゲリラ豪雨や浸水への対策について、民間事業者のノウハウや技術を活かした取組みについて調査を進める。
○道路、橋梁、トンネル、公園等の長寿命化対策について	老朽化が進む道路関連施設の適切な長寿命化の取り組みについて調査を行う。又、長寿命化強化の為の財政的強化策としてネーミングライツ等の積極的導入の調査を進める。
○自然災害を乗り越える創造拠点の整備について	「災害文化」の創造と発信に対する支援と取組みについて調査を行う

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活動内容
○市郊外のまちづくりと空き家対策について	進行する人口減少や高齢化対策として郊外における住みかえや空き家の有効活用について不動産業界団体との意見交換会を行い調査を進める。
○文化施設の充実について	文化振興の拠点となる音楽ホールの早期建設に向けた課題のあらいだしと先進地の取組み事例等の調査を進める。
○広域道路の将来計画について	国道4号線バイパスをはじめ、広域道路ネットワーク整備について調査を行う
○都市計画道路の見直し後の整備について	都市計画道路が廃止された既存道路の早期の再整備と廃止予定の先行取得用地の有効活用等について調査を行う。
○街路樹の適正な管理について	市内各所に見られる根上りの対策と老化した街路樹の更新のあり方の取組みについて調査を進める。
○市街化調整区域の現状について	市街化調整区域における建築違反状況の調査を行うとともに、地域の実状に応じた土地利用のあり方について調査を進める。
○税の視点を踏まえた空き家対策について	空き家対策として、固定資産税や都市計画税の課税の取り組みについて聴取を行う。
○太陽光パネルの普及促進について	仙台市が進める2050年ゼロカーボンシティに向けた住宅向けの太陽光パネルや蓄電池の購入の課題等について調査を行う。
◆健全な財政運営と財政基盤、そして行政改革	
○責任をもった財政運営について	国からの税源移譲等のあり方を調査するとともに、事業の厳正化や民間活力の活用を通じた財政健全化に向けた調査を行う。
○行財政改革の一層の推進と市議会の活性化について	民間委託の推進や市役所体质の改革、コンプライアンス順守徹底のための意見交換を行う。又、区役所の土、日開放や平日の窓口業務の時間延長等の拡充についても調査を進める。 公共施設マネジメントや市有建築物の長寿命化の推進について調査を行う。

政務活動テーマ	活動内容
○地域の特性に応じた大都市制度について	<p>道州制や「特別市」のあり方など早期実現に向けた取組みについて調査を行う</p> <p>☆上記活項目について調査研究  ☆その他、各種団体、仙台市内における地元活性化対策等、調査やヒアリングを行い活動</p>